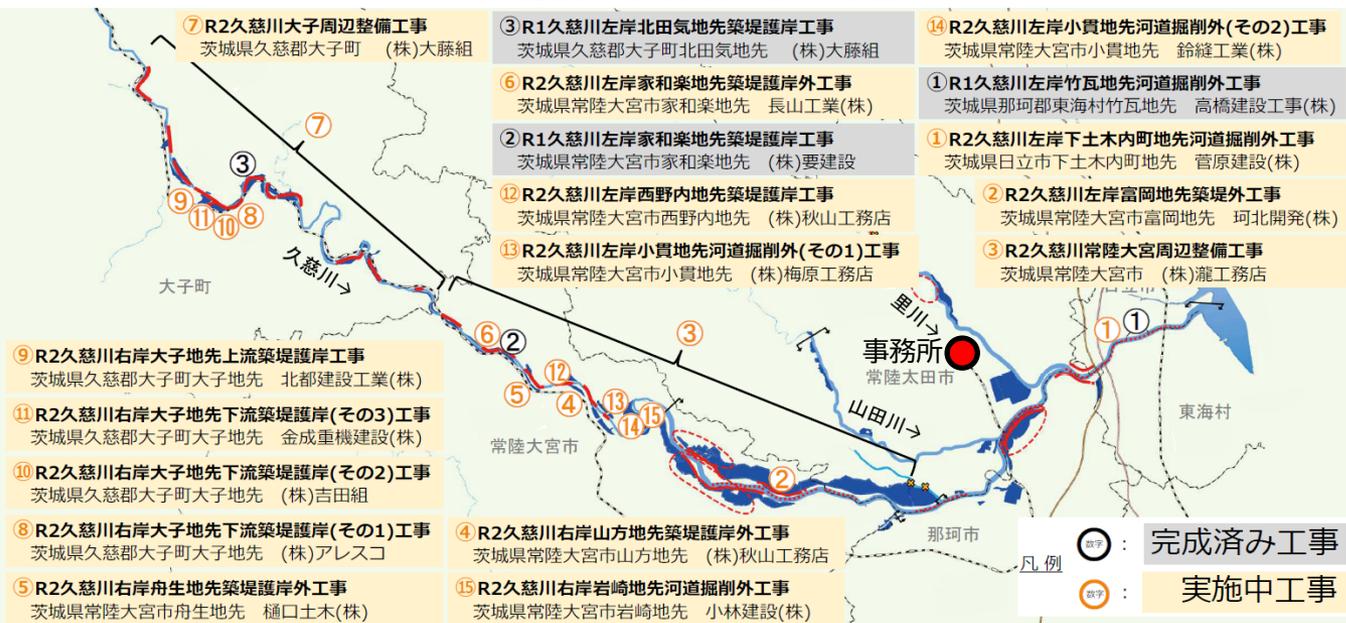


# 権限代行区間での遠隔臨場の取り組み

- 遠隔臨場は、移動時間の削減や立会の調整時間の削減が図られ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にも寄与し、建設現場の働き方改革、生産性の向上が期待されています。
- 当所では権限代行区間での工事が開始されており、令和3年度は久慈川緊急治水対策河川事務所が発注する全ての工事で遠隔臨場を積極的に活用し、久慈川緊急治水対策プロジェクトの加速を目指しています。
- このため、試行工事を行う施工者と監督職員による勉強会を開催。受発注者双方でシステムの効率的な使用方法等を習得しました。

## 工事箇所と事務所の位置関係



## 勉強会の状況



## 【遠隔臨場の勉強会概要】

- 日時: 令和3年10月18日(月) 13:30~15:30
- 場所: 国土交通省 常陸河川国道事務所
- 参加者: 75名
- <発注者側> 常陸河川国道、久慈川緊急治水 監督職員等
- <受注者側> 常陸河川国道、久慈川緊急治水 発注工事の技術者

## 取組方針について

- 発注者として受注者が行うDXの取り組みを支援
- 次に担当する工事へ活かしていくために習熟
- 工事が本格化し現場立会も増えるため、システムを上手く活用し、安全・無事故に留意してプロジェクトを推進